

## § 1. 数量総括表



## § 2. 造成土工



造成盛土工数量計算書

造成部

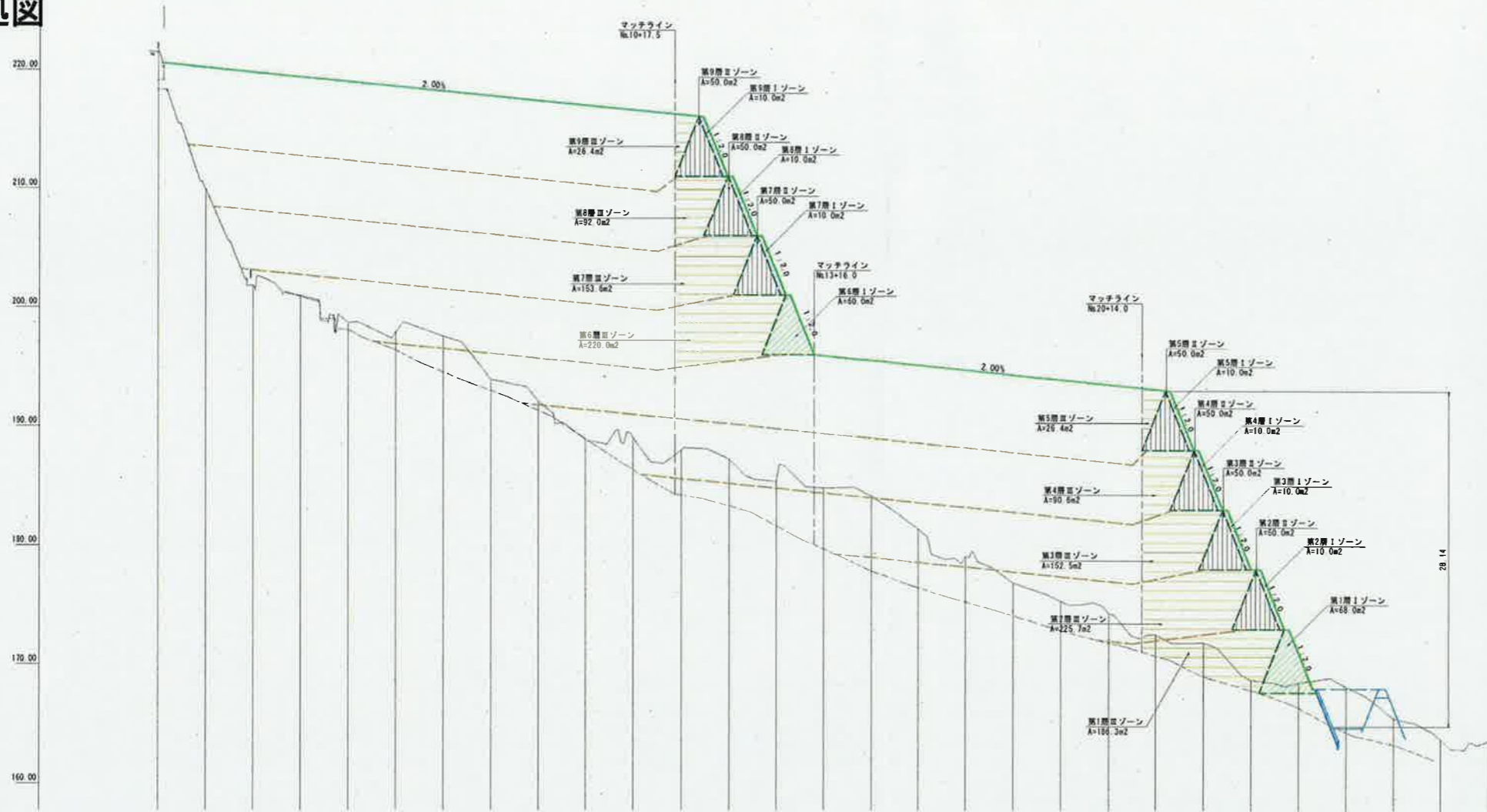
測点	単距離	修正距離	第3層(Ⅲゾーン)			第2層(Ⅲゾーン)			備考
			断面	平均断面	立積	断面	平均断面	立積	
NO. 10	0.0	0.0	0.0	---	---	0.0	---	---	
NO. 11	20.0	20.0	0.2	0.10	2.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 12	20.0	20.0	6.5	3.35	67.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 13	20.0	20.0	20.0	13.25	265.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 14	20.0	20.0	39.4	29.70	594.0	0.0	0.00	0.0	
NO. 15	20.0	20.0	79.4	59.40	1,188.0	0.8	0.40	8.0	
NO. 16	20.0	20.0	118.5	98.95	1,979.0	3.7	2.25	45.0	
NO. 17	20.0	20.0	144.5	131.50	2,630.0	13.4	8.55	171.0	
NO. 18	20.0	20.0	152.3	148.40	2,968.0	35.8	24.60	492.0	
NO. 19	20.0	20.0	185.8	169.05	3,381.0	61.8	48.80	976.0	
NO. 20	20.0	20.0	226.3	206.05	4,121.0	88.7	75.25	1,505.0	
NO. 20+14.0	14.0	14.0	237.9	232.10	3,249.4	148.3	118.50	1,659.0	No.21同断
別紙計算書より			152.5×55.02		8,390.6	225.7×47.78		10,783.9	
合計					28,835.0			15,639.9	

造成盛土工数量計算書

造成部

測点	単距離	修正 距離	第1層(IIIゾーン)			断面	平均断面	立積	備考
			断面	平均断面	立積				
NO. 20	20.0	20.0	0.0	---	---		---		
NO. 20+14.0	14.0	14.0	1.7	0.85	11.9				No.21同断
別紙計算書より			186.3	31.91	5,944.8				
合計					5,956.7				

# 土工数量根拠図

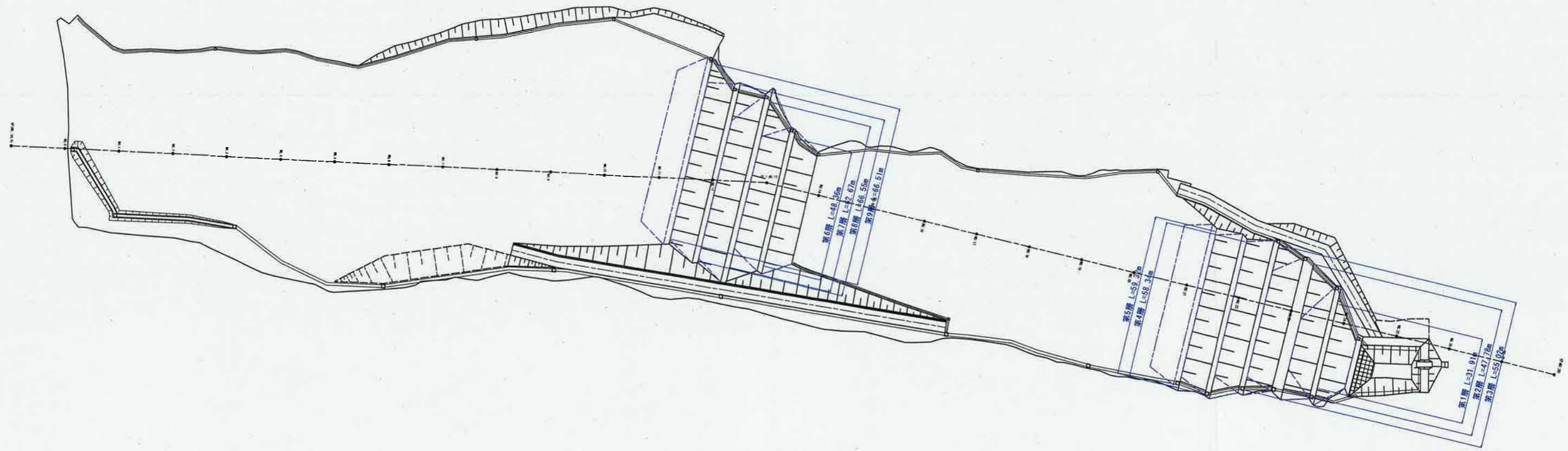


**I ゾーン**

第1層	68.0 × 31.91 =	2,169.9 m <sup>3</sup>
第2層	10.0 × 47.78 =	477.8 m <sup>3</sup>
第3層	10.0 × 55.02 =	550.2 m <sup>3</sup>
第4層	10.0 × 58.34 =	583.4 m <sup>3</sup>
第5層	10.0 × 59.32 =	593.2 m <sup>3</sup>
第6層	60.0 × 48.36 =	2,901.6 m <sup>3</sup>
第7層	10.0 × 62.67 =	626.7 m <sup>3</sup>
第8層	10.0 × 66.55 =	665.5 m <sup>3</sup>
第9層	10.0 × 66.51 =	665.1 m <sup>3</sup>

**II ゾーン**

第2層	50.0 × 47.78 =	2,389.0 m <sup>3</sup>
第3層	50.0 × 55.02 =	2,751.0 m <sup>3</sup>
第4層	50.0 × 58.34 =	2,917.0 m <sup>3</sup>
第5層	50.0 × 59.32 =	2,966.0 m <sup>3</sup>
第7層	50.0 × 62.67 =	3,133.5 m <sup>3</sup>
第8層	50.0 × 66.55 =	3,327.5 m <sup>3</sup>
第9層	50.0 × 66.51 =	3,325.5 m <sup>3</sup>



# 先行盛土工根拠図



- 1 先行盛土量 (赤ハッチ部)  
盛土面積 $A=1,000\text{m}^2$  盛土平均厚 $t=3.0\text{m}$   
先行盛土量  
 $V = 1,000\text{m}^2 \times 3.0\text{m} = 3,000\text{m}^3$



### § 3. 排水構造物工（本体工）



排水構造物工延長調書

名称	右岸			左岸			備考
	起点	終点	延長	起点	終点	延長	
小計			0.0 m			0.0 m	
合計	0.0 m						
名称	左側			右側			備考
	起点	終点	延長	起点	終点	延長	
補助暗渠 有孔管 D150							
	NO. 16+3.8	NO. 16+8.7	10.0 /	NO. 14+14.6	NO. 14+19.9	5.0 /	
	NO. 18+9.5	NO. 18+15.5	17.5 /	NO. 17+3.6	NO. 17+4.1	15.5 /	
	NO. 20+2.6	NO. 20+17.6	23.1 /	NO. 18+18.1	NO. 19+2.8	17.8 /	
				NO. 20+9.2	NO. 21+2.7	21.2 /	
小計			50.6 m			59.5 m	
合計	110.1 m						

排水構造物工延長調書

名称	右岸			左岸			備考
	起点	終点	延長	起点	終点	延長	
縦集水抗 木製井桁							縦断面より
				NO. 14		3.0 /	"
				NO. 17		7.0 /	"
				NO. 20+10.0		8.0 /	"
小計			0.0 m			18.0 m	3箇所
合計			18.0 m				

排水構造物工 作業土工集計表

名 称	床掘(土砂)	埋戻		摘 要
暗渠排水(補助暗渠) D150	11.0 ✓	—		
合 計	11.0 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>		









## § 4. 付 属 施 設 工



沈砂池数量計算書

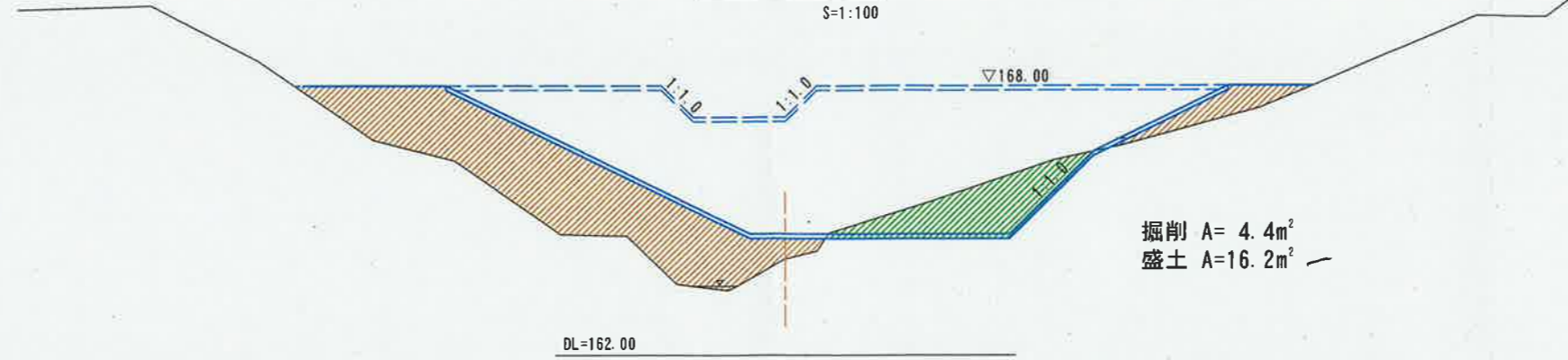
測点	種別	単距離	修正距離	掘削			測点	種別	単距離	修正距離	埋戻		
				A	1/2	V					A	1/2	V
	ブロック張部	0.0	0.0	8.1	---	---		ブロック張部	0.0	0.0	2.2	---	---
		5.7	5.7	8.1	8.10	46.2			5.7	5.7	2.2	2.20	12.5
	湛水部	0.0	0.0	0.0	---	---		合計					m <sup>3</sup> 12.5
		13.5	13.5	4.4	2.20	29.7							
	合計					m <sup>3</sup> 75.9							



付属施設工数量計算書

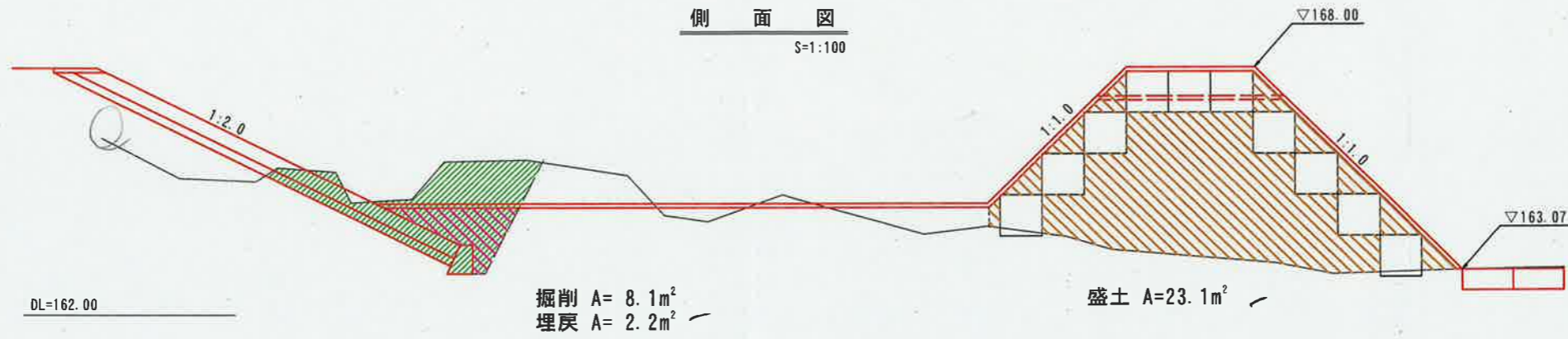
横断図

S=1:100



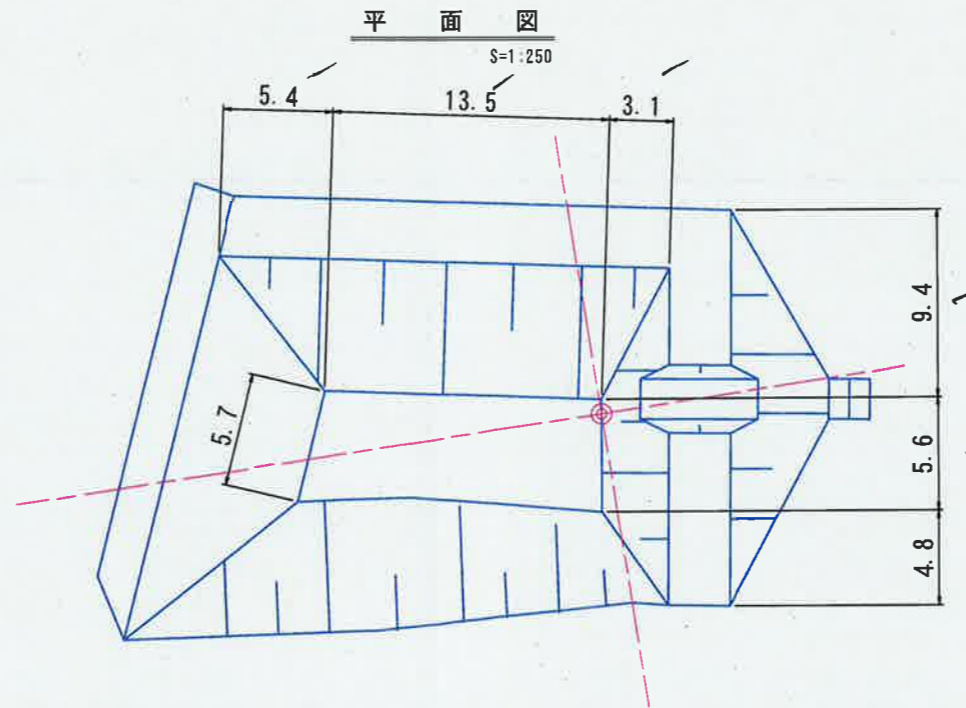
側面図

S=1:100



平面図

S=1:250



付 属 施 設 工 延 長 調 書

名 称	左 側			右 側			備 考
	起 点	終 点	延 長	起 点	終 点	延 長	
天端コンクリート			19.1				
小 計			19.1 <sup>m</sup>			0.0 <sup>m</sup>	

合 計 19.1 m

名 称	左 側			右 側			備 考
	起 点	終 点	延 長	起 点	終 点	延 長	
基礎コンクリート			19.1				
小 計			19.1 <sup>m</sup>			0.0 <sup>m</sup>	

合 計 19.1 m

付属施設工数量計算書

安定シート (ブルーシート)

湛水部  $A = 131.2 + 76.5 + 143.2 + 47.4$

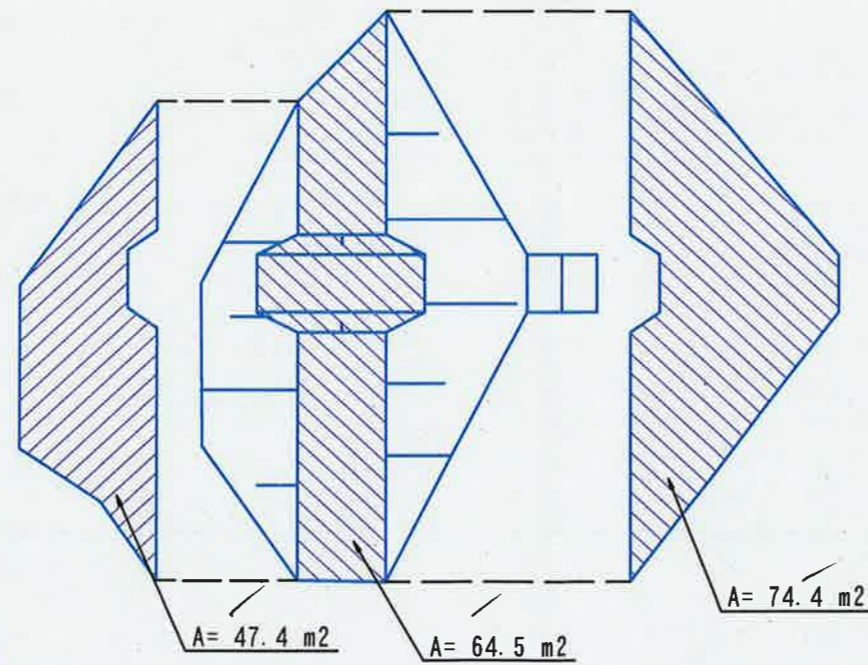
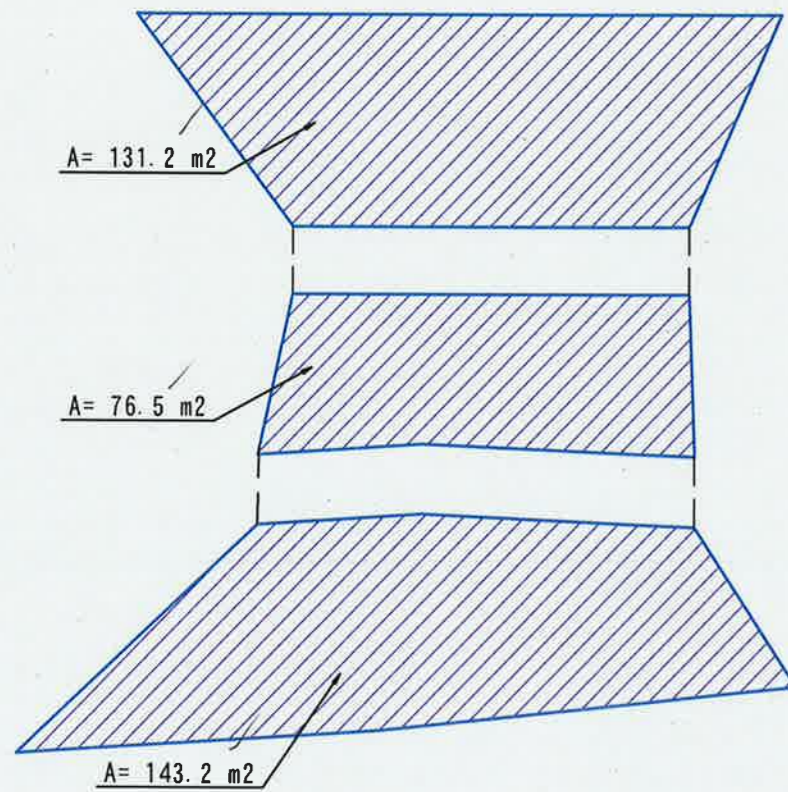
$= 398.3 \text{ m}^2$

下流部  $A = 64.5 + 74.4$

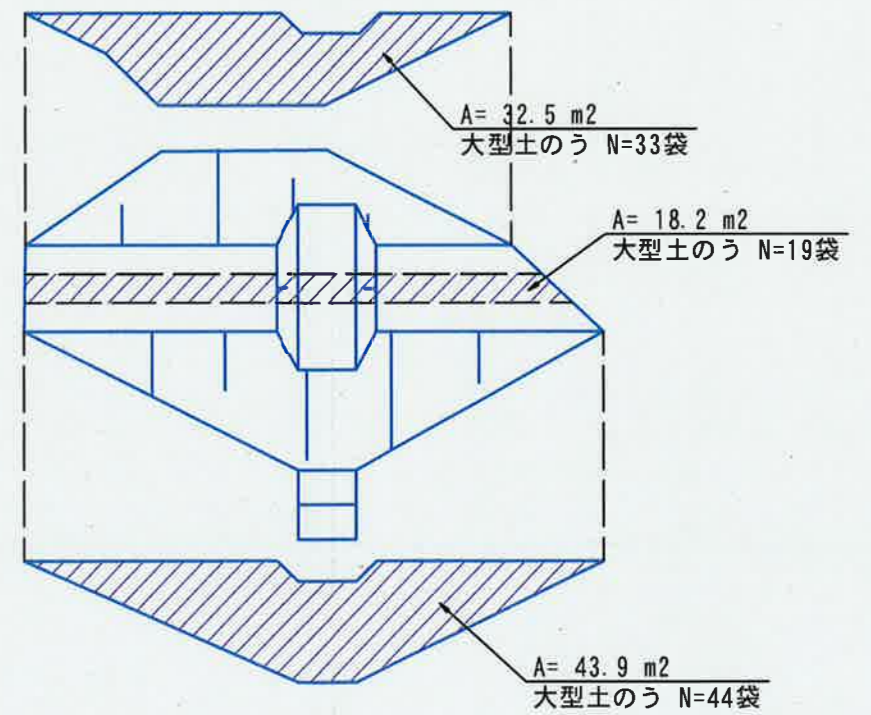
$= 138.9 \text{ m}^2$

$\Sigma A = 537.2 \text{ m}^2$

ブルーシート



大型土のう







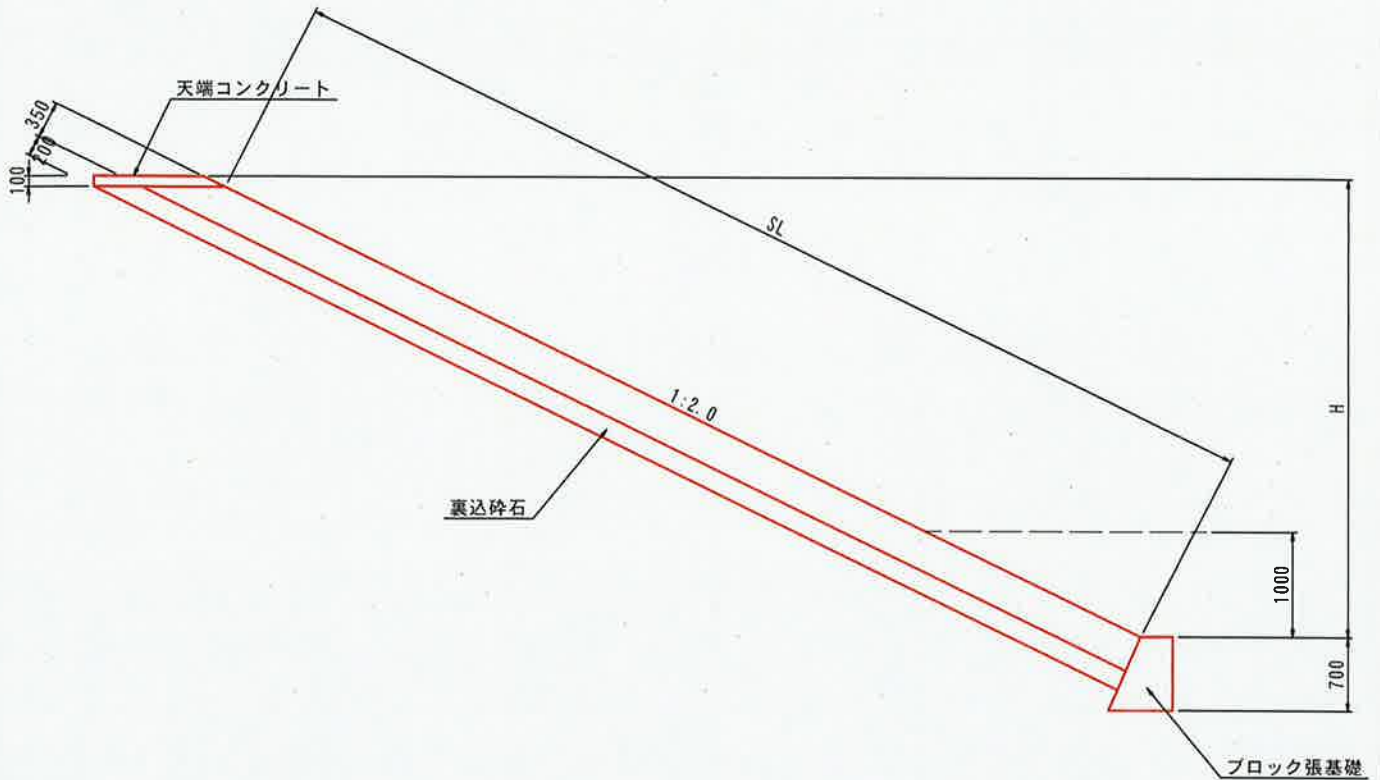




単位数計算書

付属施設工：ブロック張護岸

構造図



面積 A = 131.9 m<sup>2</sup>

種別	規格	計	算	式	単位	10m <sup>2</sup> 当り 数量	面積	全体 数量
積ブロック	JIS A 5371 350kg/m <sup>2</sup> 以上		鳥取県小構造物図集より		m <sup>2</sup>	10.000	131.9	131.9
胴込コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>		"		m <sup>3</sup>	2.200	131.9	29.0
裏込碎石	RC-40		"		m <sup>3</sup>	2.000	131.9	26.4
目地材	t=10mm		"		m <sup>2</sup>	0.350	131.9	4.6



§ 5. 仮 設 工

# 敷鉄板敷設工

【敷設置・撤去】						
箇所	枚数	規格	m <sup>2</sup> /枚	転用回数	面積	備考
敷設替	42	1.5×6m (22mm)	9	3	1,134	m <sup>2</sup> ✓
敷設替	11	1.5×3m (22mm)	4.5	3	149	m <sup>2</sup> ✓
合計					1,283	m <sup>2</sup> ✓

- ・敷設替は4回巻出し (t=2.0m毎 (0.5m/層×4回巻出し) に1回行うと想定  
 造成面積A=10,000m<sup>2</sup> (造成盛土部) +2,000m<sup>2</sup> (先行盛土部) =12,000m<sup>2</sup>  
 造成量V=59,000m<sup>3</sup> (造成盛土部) +3,000m<sup>3</sup> (先行盛土部) =62,000m<sup>3</sup>  
 平均盛土厚t=62,000m<sup>3</sup>/12,000m<sup>2</sup>=5.2m  
 敷設回数N=5.2m/2.0m=2.6≒3回

## 諸経費工種

公園(敷地造成)を適用。

\*センター処分場工事は公園(I-2-②-5)敷地造成工を適用。

## 交通管理

■処分場稼働月数

$62,000\text{m}^3 / (80\text{台/日} \times 5.2\text{m}^3/\text{台}) \approx 150\text{日}$

■交通誘導警備員Bの計上

搬入搬出車両整理のため、処分場入口に交通誘導員を1人/日配置する。

・  $1\text{人} \times 150\text{日} = 150\text{日}$

交通誘導警備員B =

150人
------